

きらめく まちビット

4月から地域おこし協力隊に着任された
日野楓太さんと愛梨さんご夫婦に、
地域おこし協力隊になったきっかけや
現在の活動、今後の目標について
お話を聞いてきました。

プロフィール

ひのふうた ひのあいり
日野 楓太さん × 日野 愛梨さん

二人とも静岡県出身。それぞれ地元で就職後に出会う。
農業に挑戦するため楓太さんが退職し、農業のアルバイトを1年半ほど経験。その後、愛梨さんと二人で地域おこし協力隊に応募し、4月より着任した。

『失敗したからこそ
うまくできるまでやってみたい
と思いました。』

失敗の経験が、 農業を目指すきっかけに

楓太さん：建設会社で土木の施工管理の仕事をしていました。仕事をしながら貸し農園を利用し、人参やほうれん草、ジャガイモを作っていました。仕事の傍らということもあり、肥料などの知識や技術もなかったためことごとく失敗しました。失敗したからこそうまくできるまでやってみたい、もっと本格的にやったら面白そうと思ったのがひとつのきっかけですね。

愛梨さん：スポーツジムや内装業の卸会社で事務の仕事をしていました。（楓太さんから）農業に興味があるという話は聞いていましたが、ある日仕事を辞めてきたと。

楓太さん：（愛梨さんには）仕事を辞めてから報告しました。

愛梨さん：急な報告で驚きましたが、農業に挑戦したいという覚悟が見えました。私は農業未経験の初心者ですし、家族のこととか、2人でやっていけるかなとか葛藤はありましたが、私も頑張ってみようと思いました。

なよろを知ったきっかけ

楓太さん：仕事を辞めてから1年半ほど静岡で農業のアルバイトをしていました。その後、おとしし大阪で開催された『新・農業人フェア 2024』に参加しました。作りたいものが決まっていたわけではなく、その土地に合うものを作りたいと思ってました。正直、いろんな地域の話聞いても名産品とかの話はありますが、そんなに違いがなくて。その中でも、話を聞いて「ここに行ってみよう」と思ったのが名寄でした。

楓太さん：初めて名寄に来たのは去年の8月で、農業体験に参加しました。

愛梨さん：最初の印象は、静岡と比べて涼しかったです。

楓太さん：農地もとても広がったです。静岡では中心部に近いところで生活していたので、こんなに広いことはなかったですね。

楓太さん：その次は12月に地域おこし協力隊の面接を受けに来て、名寄の冬景色を見ました。名寄の本格的な冬の暮らしを経験したわけではないので今年の冬が初めてになります。

移住したいまの 仕事や生活について

楓太さん：4月から風連の農家さんで研修を受けていて、そこではうるち米とスイートコーン、大豆、カノコソウの4種類を作っています。

愛梨さん：農業初心者なので、体力ももちろんのこと機械操作も初めてで分からないことがたくさんあります。想像していたより大変な部分はありますが、その分作物ができたときに達成感を味わえるのではと。

楓太さん：私はアルバイト経験もあり、土地がこれだけ広いので機械をメインに使うことは想像していたので概ね想像通りでした。

愛梨さん：休みの日は道の駅に行ったり、事前にお店を調べて食べに行ったりしています。食べることが好きなので。

楓太さん：スープカレーやソフトクリームを食べに行きました。

愛梨さん：お店や店の周りののどかな雰囲気も良くて。

楓太さん：移住してきて、名寄は優しい人が多いですね。

愛梨さん：気にかけてくださる、助けになってくださる方が多いと感じています。

楓太さん：生活もしやすく、たまに人がいっぱいいるような賑やかさが恋しくなることはありますが。車があれば近郊の市町村にも行けるので、生活するには全く困らないですね。

楓太さん：今後の目標は、独立して就農することです。就農して続けていくために、今は必死でいろんなことを覚えられるように頑張っています。



田植えの様子

新規就農に向けて、
全力で頑張っていきますので
応援よろしくお願いします！